

“女性内視鏡外来”の開設

～女性内視鏡専門医が行う女性の大腸内視鏡検査受診率向上を目指して～

診療内容

2019年度の大腸癌の死亡数統計では、男性で3位、女性で1位、罹患数統計は、男女総数1位であり、死亡率の年次推移も右上がりにも上昇しており、大腸内視鏡検査の重要性が増加しています。大腸癌のほとんどは大腸ポリープが増大するに伴って癌化する特徴があり、症状がない段階で大腸内視鏡検査を受けて頂き小さなポリープの段階で発見し治療することで大腸癌を予防する事ができます。一方で被検者にとって検査の受け入れやすさは重要なファクターです。特に女性において大腸内視鏡検査は、羞恥心や不安から女性内視鏡医への要望が多くなっています。そこで女性がん死亡率1位の大腸癌から女性を守るために受容性を重視した「女性内視鏡外来」を開設させて頂きます。女性消化器内視鏡専門医が最新の内視鏡システムを使用し、苦痛の少ない、質の高いスクリーニング検査から内視鏡治療までを提供します。また、希望者には鎮静剤による静脈麻酔や日帰りでのポリープ切除も行います。

対象者

大腸内視鏡検査を希望する女性の方。

1.便潜血検査陽性の方。

2.腹部症状のある方で、内視鏡検査希望の方。

3.大腸癌の家族歴のある方。 など

診療時間

第 1.3.5 週 金曜 14:00～15:00

完全予約制

ご予約・お問い合わせ

予約、お問い合わせは、下記までお願いいたします。

医療事務課

電話：0835-22-3339

予約受付時間 14：00～17：00

※受付は平日のみとなります

※検査前に下剤の処方等の準備のため、受診が必要です。

女性のための内視鏡外来

女性の内視鏡専門医、女性スタッフによる大腸内視鏡検査の専門外来です

第1、3、5週の金曜午後に行っています

大腸がんが増えています

昨今、大腸がんの増加が報告されています。消化管のがんはかなり進行しないと症状が出現しません。大腸がんは腫瘍がかなり増大するまで無症状の方が多というのが実際です。

一方で、大半の大腸がんは大腸ポリープからの発育であることがわかっており、内視鏡検査でポリープを早期に発見し、切除しておくことで大腸がんの予防が可能です。

小さい病変は外来で治療します

大腸ポリープは10mmを超えるとがん細胞が含まれる率は3割とも言われています。当院では外来検査で10mm未満の小型病変についてはコールドポリペクトミーによる外来治療、それ以上のものについては術後出血のリスクに配慮し入院での治療をお勧めしています。

痛みが不安、という方にも対応しています

当院では、鎮静剤の使用をふくめ、痛みの少ない内視鏡検査をご提案しています。大腸がんで苦勞される方が一人でも少なくなるよう努めています。



診察時間 第1、3、5週 金曜14:00~15:00 (予約制)

ご予約・お問い合わせは 医療事務課 (1階受付) 電話: 0835-22-3339

予約受付時間14:00~17:00 (平日のみ)

検査前に下剤の処方等の準備のため、受診が必要です



一般財団法人
防府消化器病センター